

# 空神 SMART

## 取付要領書

国産 12V/24V 車対応

このたびは、空神 SMART をお買い上げいただきありがとうございました。

本書は、空神 SMART の取付要領について記載してあります。

取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。

取付けミスは、誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

取付けはお買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。

また、別冊の「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。

### 取付可能車両

●国産 12V 車両または 24V 車両

●純正キーレス操作時、ハザードがロック時 1 回、アンロック時 2 回点滅またはロック時 2 回、アンロック時 1 回点滅する車両

※輸入車など、上記条件に当てはまらない車両には取付ける事ができません。取付ける前にお車の仕様をご確認ください。

### 品番

品 番

DC-M2500

### 用語の定義

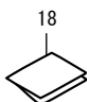
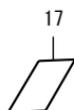
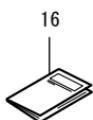
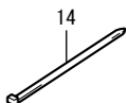
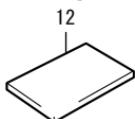
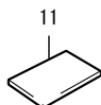
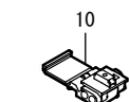
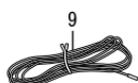
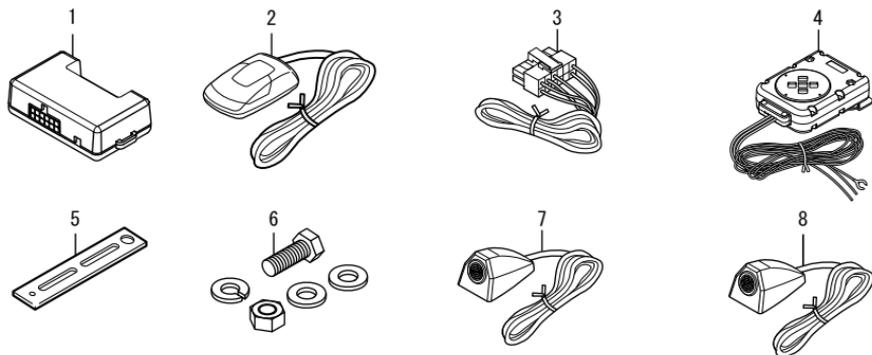
△警告	このマークのついた“注意事項”を守らないと事故につながったり、人が死亡したり重傷を負うなどのおそれがあります。
△注意	このマークのついた“注意事項”を守らないと事故につながったり、けがをしたり、車両や部品を損傷するなどのおそれがあります。
👉アドバイス	このマークは、作業をスピーディおよび容易にするための補足説明を表します。
「前・後・左・右」	車両運転状態（運転者が車両前方を見た状態）での向きを表します。

車両ハザード線の場所については弊社ホームページ車種別接続図をご参照ください。

※一部情報の無い車両もあります。

[http://www.e-comtec.co.jp/0\\_etc/tekigou/tekigou.html](http://www.e-comtec.co.jp/0_etc/tekigou/tekigou.html)

# 構成部品



No	品名	個数
1	車載機（空圧センサー内蔵）	1
2	衝撃 / 傾斜センサーユニット（約 3m）	1
3	メインハーネス （12P / 約 1m / 3A ヒューズ付き）	1
4	サイレン（バックアップ電池内蔵）（約 4m）	1
5	サイレン固定用補助ステー	1
6	ネジ×1 / ナット×1 / ワッシャー×2 スプリングワッシャー×1 （サイレンと補助ステー固定用）	1セット
7	受信側超音波センサーユニット （約 3m / 白色コネクタ）	1
8	送信側超音波センサーユニット （約 3m / 赤色コネクタ）	1
9	ウインカー延長線（白色 / 約 1.5m）	1
10	エレクトロタップ（桃色）	5
11	両面テープ （衝撃 / 傾斜センサーユニット用）	1
12	両面テープ（車載機用）	1
13	ハーネス固定用バンドクランプ （100mm）	8
14	車載機固定用バンドクランプ （350mm）	1
15	セキュリティステッカー（2枚）	1
16	取付要領書（本書）	1
17	VAS 適合証明	1
18	取扱説明書（保証書付）	1

# 取付け上の注意事項

取付けに際しては「本書」に記載されている“注意事項”を必ず取付けに反映させて作業を行ってください。

もし、これらの“注意事項”を無視して取付けた場合は、本製品の正常な作動を阻害するばかりでなく、人身事故、車両事故につながるおそれがあります。

## △注意

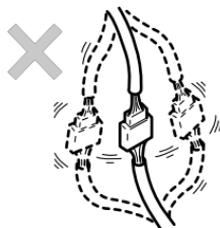
### 1. 取付作業の前に

- ・本製品は国産 12V 車両または 24V 車両取付け可能です。それ以外のお車には取付けできません。取付ける前にお車の仕様をご確認ください
- ・本製品を取付ける前に車両部品の点検を行ない正常に作動することを確認してください。
- ・ショート防止のため、バッテリー (-) ケーブルをはずしてください。
- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・シフトレバーは、パーキングに入れて作業を行ってください。
- ・サイドブレーキは、必ず引いて作業を行ってください。
- ・キーが抜かれていることを確認して作業を行ってください。
- ・一部車両にて本製品が警報作動中、電波干渉により純正キーレス操作の飛距離が短くなる場合があります。そのような場合、本製品の取付け場所や配線の取回しを変更することで改善する場合があります。
- ・お客様の利用状況を確認した上で取付位置を決定してください。



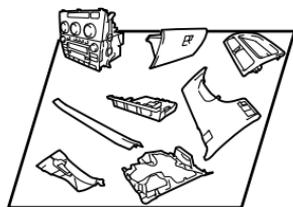
### 2. 取付けについて

- ・ユニットおよび配線は振動で動いたり、はずれたりしないようしっかりと固定してください。事故や故障の原因になります。
- ・両面テープで固定する場合は、貼付け面の汚れ、油脂分、水分などをきれいに拭き取っておいてください。十分な接着力が得られず、振動で動いたり、はずれたりするおそれがあります。
- ・両面テープでの貼付けは、1分間程度押さえ付けてしっかりと接着させてください。
- ・気温が低い場合は、接着力が落ちるので、ドライヤーなどで暖めながら貼付けてください。
- ・両面テープの貼直しは、接着力が落ちるので絶対に行わないでください。
- ・両面テープでの貼付けは、本製品を必要以上に強く押さえないでください。破損するおそれがあります。
- ・本製品が著しく高温になる位置は避けてください。
- ・本製品が安全のために運転または操作の妨げや居住性を損なわない場所を選んでください。
- ・本製品はエアバッグ上部および展開範囲内へは絶対に取付けしないでください。
- ・+B 電源および ACC 電源は必ず 12V または 24V の配線に接続してください。ハイブリッド車や電気自動車にはそれ以上の電圧の配線があります。十分ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。



## △注意

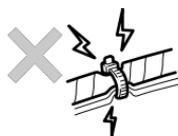
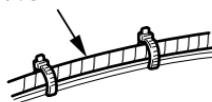
- ・本製品は小物入れのフタなどの可動部および展開範囲内への取付けを避けてください。
- ・取外した車両部品は部品ごとに整理して復元するときに間違えないようにしてください。また、傷を付けたりしないよう取扱いに注意してください。
- ・本製品のサイレン音は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため、騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で作動確認を行ってください。
- ・作動確認を行う場合、ガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。弊社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- ・セキュリティステッカーは決められた箇所以外の窓ガラスには貼らないでください。  
(セキュリティステッカーの貼付けは、P25の“セキュリティステッカーの貼付け”を参照してください。)



### 3. 配線について

- ・ハーネスの接続は指示通り正しく行ってください。  
間違っていると、誤作動や故障の原因になります。
- ・ハーネスは座席レールなど車両側の可動部分（30mm以上離す）や排気管のような高熱部分（100mm以上離す）に接触しないように、すき間を十分確保して配線してください。
- ・ハーネスはブラブラしないようバンドクランプなどを利用して固定してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすおそれがあります。
- ・バンドクランプで固定する場合は、ハーネスが変形するほど強く締め付けしないでください。
- ・バンドクランプは締め付け後、余った先端部を切り取ってください。切り取る際、なるべく根元でカットし、斜めカットはしないでください。
- ・ハーネスを車両貫通穴やエッジ部、スポット溶接のバリなどに通す場合は、それらの部分に保護テープを貼って必ず保護してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ハーネスを強くねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。内部ショート、断線、水入りの原因になります。
- ・コネクタをはずす場合は、ハーネスを引っ張らず、コネクタを持ってはずしてください。
- ・各コネクタを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込まないでください。コネクタの端子間でショートするおそれがあります。
- ・コネクタは、しっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。
- ・重要保安部（エアバッグなど）の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になるおそれがあります。
- ・配線を固定する際、特に駆動部やブレーキパイプ、ホース類には固定しないでください。
- ・復元する際、ハーネスが噛み込まないようにしてください。

車両ハーネス



△注意

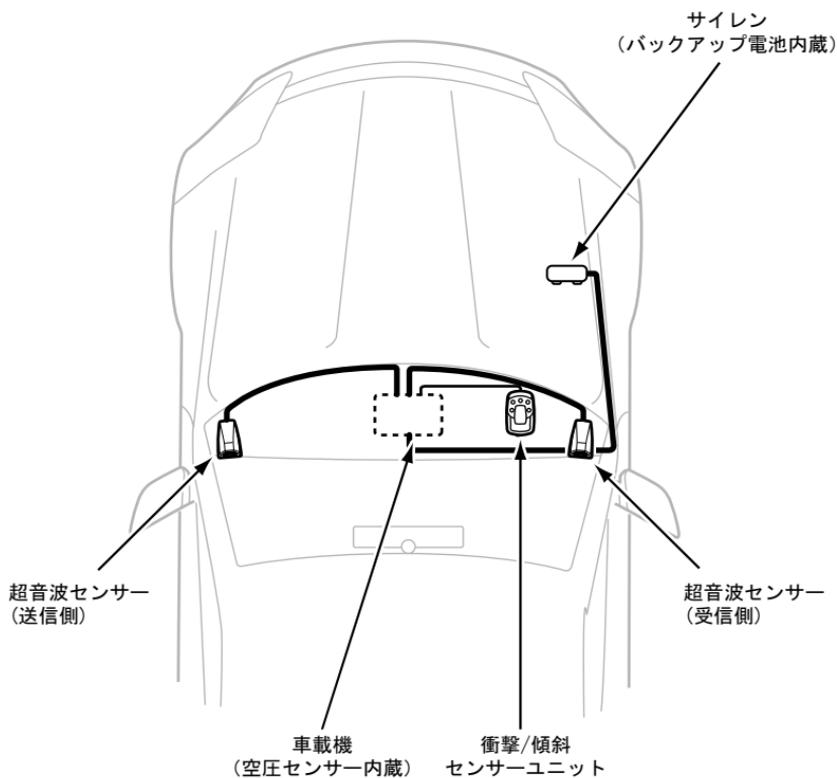
4. サイレンについて

- ・分解は絶対に行わないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
- ・音孔に耳を近づけないでください。また体のそばで警報音を鳴らさないでください。聴力障害を起こす恐れがあります。
- ・サイレンにはバッテリーが含まれているため、一般の家庭ゴミとは個別に処理する必要があります。本製品を廃棄する際は、お住まいの地域の自治体に廃棄およびリサイクルの方法についてお問い合わせください。また環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行なっています。



## 取付概要

以下は車種による取付事例を示します。製品の取付け位置はあくまで参考ですので、車両およびお客様の状況によって、各センサーが反応しやすい場所へ取付けを行なってください。  
※空圧センサーおよび衝撃 / 傾斜センサーの感度調整はできません。



# 取付要領

下記概略と前ページの取付概要を元に、次ページ以降に記載した各部品の取付方法や配線方法に従って本製品を取付けてください。

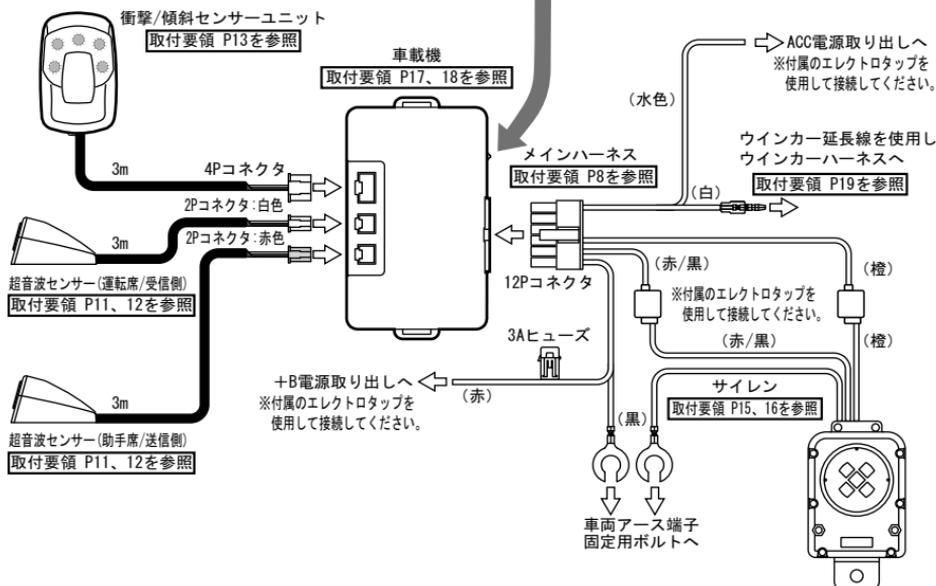
車両に合った取付位置を事前に仮決めしておくとして作業が容易になります。

また、必要に応じて車両部品の取外しや加工が必要となります。

## アドバイス

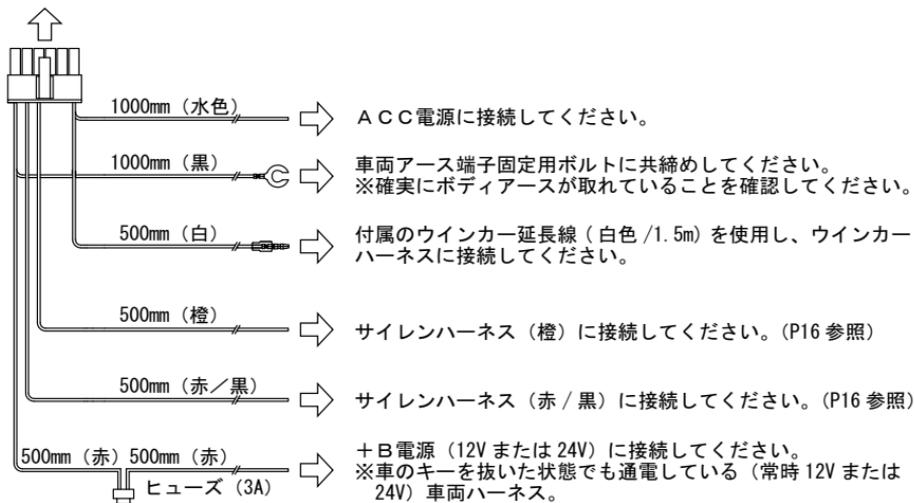
- ・仮決めしたときに、各センサーが正常に作動するか確認してください。
- ・本製品は純正キーレスリモコン運動操作のため、ウインカー延長線（白線）の接続を行わなければ動作しません。
- ・本製品は純正キーレスリモコンを操作した際に、ハザードが下記回数減を行う車両のみ取付可能です。

ハザードスイッチ 1（初期設定）	ロック時ハザード点滅 1 回
	アンロック時ハザード点滅 2 回
ハザードスイッチ 2	ロック時ハザード点滅 2 回
	アンロック時ハザード点滅 1 回



## ■メインハーネスの接続先

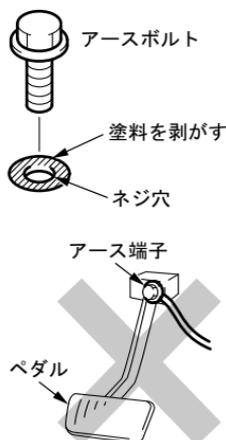
車載機へ



- (1) 車両側の + B 電源 (12V または 24V)、ACC 電源、ウインカーハーネス、および車両アース端子固定用ボルトの位置を確認してください。

## △注意

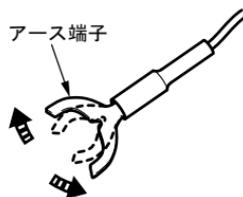
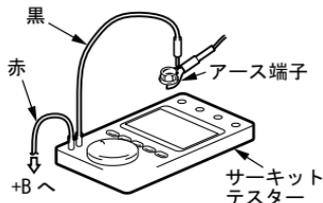
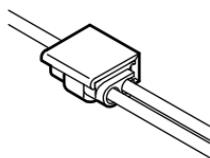
- メインハーネスの長さを考慮して取付位置を決定してください。
- + B 電源および ACC 電源は必ず 12V または 24V の配線に接続してください。ハイブリッド車や電気自動車にはそれ以上の電圧の配線があるため、十分ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- + B 電源および ACC 電源の位置を確認する際、線径が 0.3sq ~ 1.25sq の線を探してください。
- 0.3sq ~ 1.25sq の線がない場合は、半田付けで対応してください。(半田付けによる接続方法は、P10 を参照してください)
- + B 電源をオーディオなどと同様の部分から取り出した場合、電源容量が足りず動作しなかったり、ノイズなどの影響を受けて、製品故障の原因になりますので注意してください。
- 車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。
- アース端子は、ペダルブラケットや駆動部のボルトと共締めしないでください。
- アース端子の接続が不完全であると、動作不良の原因となるため、アース端子の接続には十分注意してください。
- オーディオやナビゲーションなどの他の電装品のアースと同じ場所にアース端子を取付けないでください。動作不良の原因となります。



(2) 接続位置を決め、メインハーネスを接続してください。

△注意

- ・接続位置を決める際、他部品（車載機、サイレン）の取付位置と各ハーネスの長さを考慮し、接続位置を決めてください。
- ・+B 電源、ACC 電源、およびサイレンの接続は、付属のエレクトロタップを使用して接続してください。  
(エレクトロタップを使った接続方法は、P10 を参照してください)
- ・アースボルトに接続する際、サーキットテスターで確実にアースが取れていることを確認してください。
- ・アースボルトの径が大きい場合は、アースボルトの径に合わせてアース端子をひろげて取付けてください。
- ・共締め の締め付けが不十分だと接触不良などにより正常に作動しなくなることがありますので注意してください。



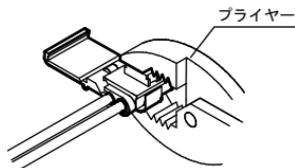
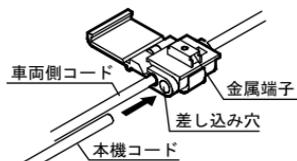
(3) メインハーネスを取回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

△注意

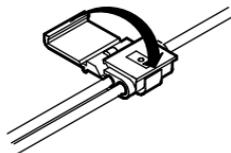
- ・メインハーネスの取回しまたは固定は、**取付け上の注意事項** に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

## ■エレクトロタップを使った接続方法

- 1) 接続する相手側のハーネスを確実に差し込み穴へ挿入してください。
- 2) プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 絶縁テープを巻いて作業終了です。



### △注意

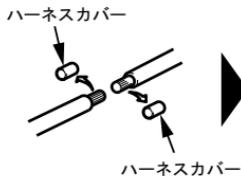
- ・エレクトロタップは0.3sq～1.25sq用ですので、それ以外の線径は接続できません。
- ・0.3sq～1.25sqの線径がない場合は、半田付けで対応してください。

## ■半田付けによる接続方法

- 1) 接続する相手側のハーネスを切断してください。
- 2) 切断部のハーネスカバーを取外してください。
- 3) 接続する線を巻き付けた後、半田付けしてください。
- 4) 接続部に絶縁テープを巻いてください。



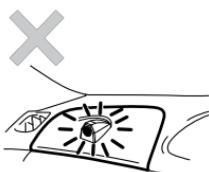
切断してください



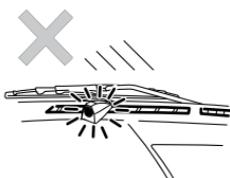
(1) 車両に取付ける超音波センサーの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。

## 取付条件

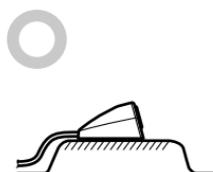
■エアバッグ  
作動領域



■吹き出し口

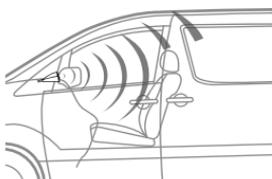


■平な面に装着



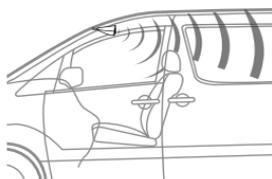
## 取付例

■ダッシュボード上



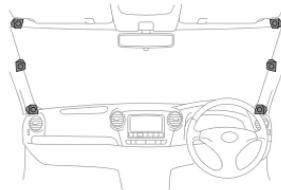
おもに運転席・助手席を反応・検知

■ルーフライニング



おもに後部座席を反応・検知

■取付け箇所（参考）



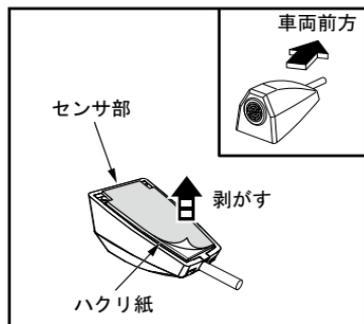
## △注意

- ・車外に向けて取付けしないでください。正常に作動しません。
- ・センサーの取付位置によっては反応・検知しにくい場合があります。
- ・全てのエリアに反応することはできません。
- ・取付け位置によって検知範囲が変わります。反応・検知しやすい位置に取付けを行ってください。

(2) 両面テープのハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。また取付ける際は内側（車内側）に向けて取付けてください。

## △注意

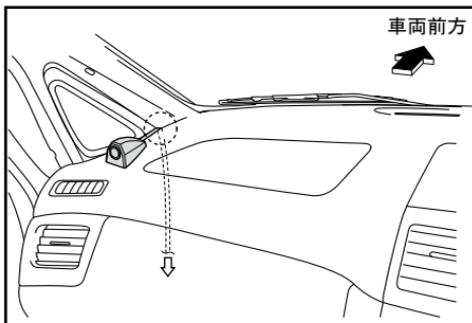
- ・センサー部貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。
- ・超音波センサーユニットハーネスの取り回すルートを意識してセンサー部の向きに注意して貼り付けてください。



- (3) 超音波センサーユニットハーネスをフロントビラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

△注意

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスチックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



- (4) 超音波センサーユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

△注意

- ・超音波センサーユニットハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項**に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

### 3 衝撃 / 傾斜センサーユニットの取付要領

- (1) 車両に取付ける衝撃 / 傾斜センサーユニットの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。

#### 取付条件

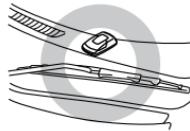
■エアバッグ  
作動領域



■吹き出し口



■車室外から  
見やすい所に装着

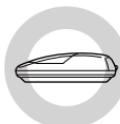


■平な面に装着

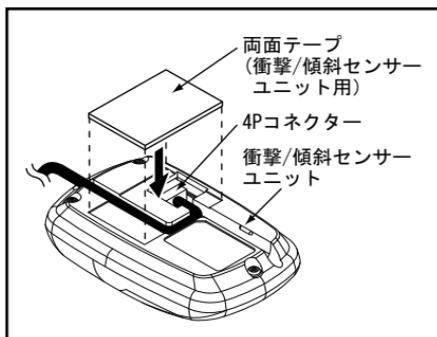


■衝撃が検知できない場所に取付けないでください。

■衝撃 / 傾斜センサーユニットは正しい向きで設置してください。

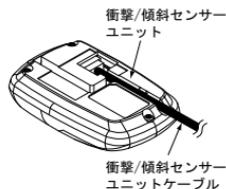


- (2) 4P コネクタが外れていないことを確認し、衝撃 / 傾斜センサーユニットの裏側に、両面テープ（衝撃 / 傾斜センサーユニット用）を貼り付けてください。



#### アドバイス

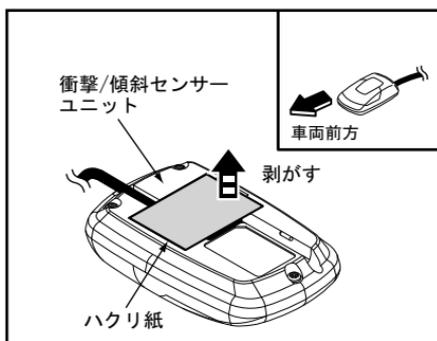
- ・ケーブルは前から出すこともできます。ケーブル方向を変えた後、ケーブルを溝に確実ににはめ込んでください。
- ・ケーブルを前から出す場合、余裕を持った配線を行ってください。負荷がかかった状態で配線を行うと、コネクタが外れ、正常に動作しない恐れがあります



- (3) 両面テープ（衝撃／傾斜センサーユニット用）のハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。

△注意

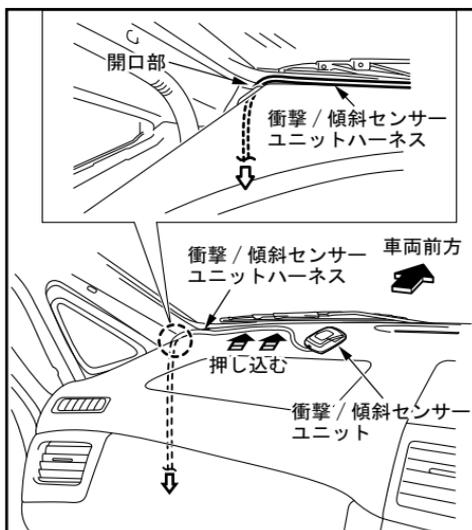
衝撃／傾斜センサーユニット貼付け位置のゴミ、ホコリ、油污れなどを取り除いてから貼り付けてください。



- (4) 衝撃／傾斜センサーユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

△注意

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスチックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



- (5) 衝撃／傾斜センサーユニットハーネスを取回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

△注意

- ・衝撃／傾斜センサーユニットハーネスの取回しまたは固定は、取付け上の注意事項に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

- (1) 車両に取付けるサイレンの位置は、エンジンルーム内で取付条件を参考に位置決めしてください。

## 取付条件

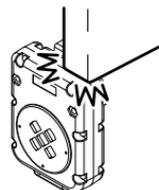
■バッテリー付近  
(熱を持ちにくい箇所)



■水がかかりにくい位置



■車両部品などに干渉しない位置



## △注意

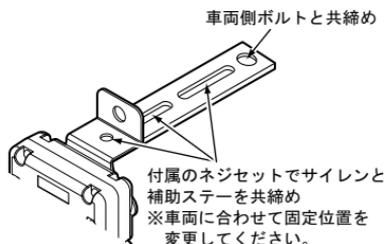
- サイレンをエンジン付近など、高温になる場所へは取付けしないでください。故障・破損の原因となります。また動作温度範囲を超える場所へ取付けを行い故障した場合、有償修理となることがあります。あらかじめご了承ください。
- サイレンに内蔵のバックアップ電池は取付場所の温度が高いと寿命が短くなることがあります。ご注意ください。
- サイレンは防水仕様 (IP54) となっていますが、水がかかりやすい場所や可動部付近への取付けは避けてください。
- サイレン取付けスペースがあることを確認してください。
- サイレン固定用ボルトの首下の長さで固定できる厚みであることを確認してください。
- サイレン取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

- (2) サイレンを車両に取付ける。

■既設穴へ車両側ボルトと共締めし固定してください。サイレン固定用ステーのみで取付けできない場合は、付属のサイレン固定用補助ステーを使用し、取付けを行ってください。



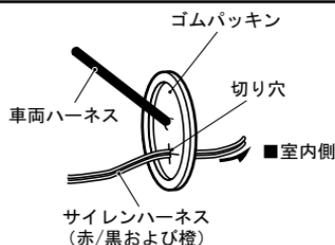
サイレン固定用ブラケットのみで取付けできない場合は付属のサイレン固定用補助ステーを使用し、車両に合わせて取付けを行ってください。



## △注意

- サイレンハーネスの取回すルートを意識して、サイレン固定用ステーを取付けてください。
- サイレンの取付け方向は、サイレンから出ている電線部が上を向かないようにしてください。

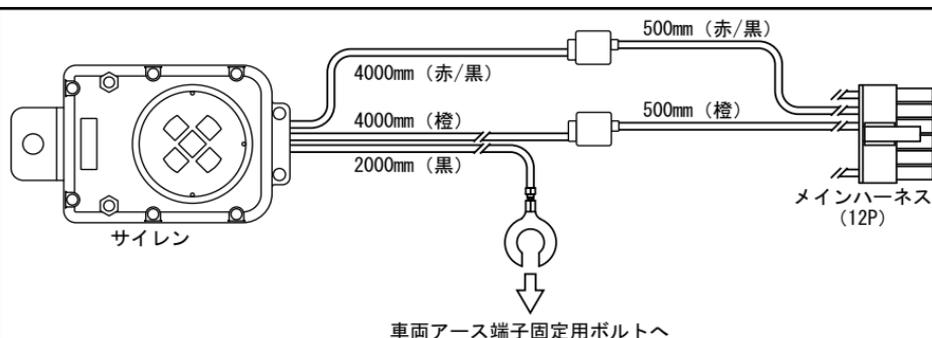
- (3) サイレンハーネスをエンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け、室内に引き込みます。その後、余ったサイレンハーネスをハーネス固定用バンドクランプ (100mm) で固定してください。



△注意

- サイレンハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項**に記載されている内容に従って行ってください。
- ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

- (5) 車両のアース端子固定用ボルトおよびメインハーネスの接続先の位置を確認し、接続してください。



△注意

- サイレンハーネス線 (赤 / 黒) をバッテリーに直接配線しないでください。
- アース端子をサイレン固定用ステーと共締めは絶対に行わないでください。アース不良の原因となります。
- アース端子を車両バッテリーに直接接続しないでください。アース不良の原因となります。

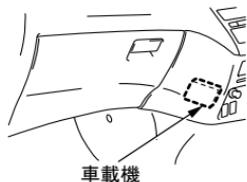
△注意

- 車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めしてください。
- アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には十分注意してください。

(1) 車両に取付ける車載機の位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。

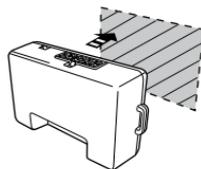
### 取付条件

■ 室外から見えない位置

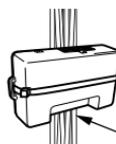


車載機

■ 車載機を両面テープ（車載機用）または車載機固定用バンドクランプ（350mm）1本で固定可能な位置



または



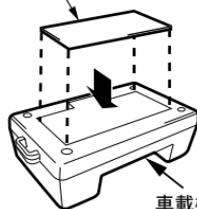
車両ハーネス

■ 空気の流れのある場所

### △注意

フロアマットの下などに固定しないでください。空圧センサーが検知できない恐れがあります。

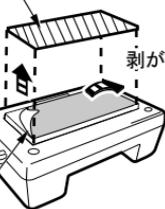
両面テープ  
（車載機用）



車載機

位置決めした位置

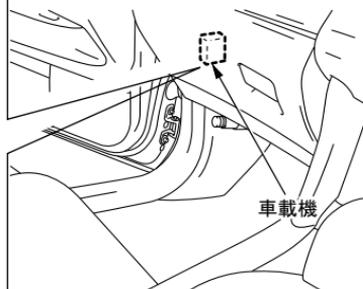
貼り付けて  
ください



ハクリ紙

剥がす

〈取付例〉



車載機

■ 両面テープ（車載機用）で固定する場合

(1) 車載機の取付位置を位置決めしてください。

### △注意

車載機取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

(2) 車載機の裏面に、両面テープ（車載機用）を貼付けてください。

### △注意

文字が表示されている面には貼付けないでください。

(3) 両面テープ（車載機用）のハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼付けてください。

### △注意

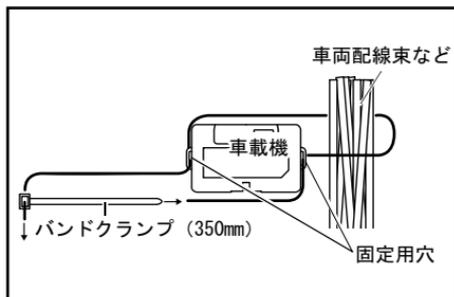
- ・ 車載機貼付位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取除いてから貼り付けてください。
- ・ 各ハーネスの取り回すルートを意識して、車載機の向きに注意して貼り付けてください。

## ■車載機固定用バンドクランプ（350mm）で固定する場合

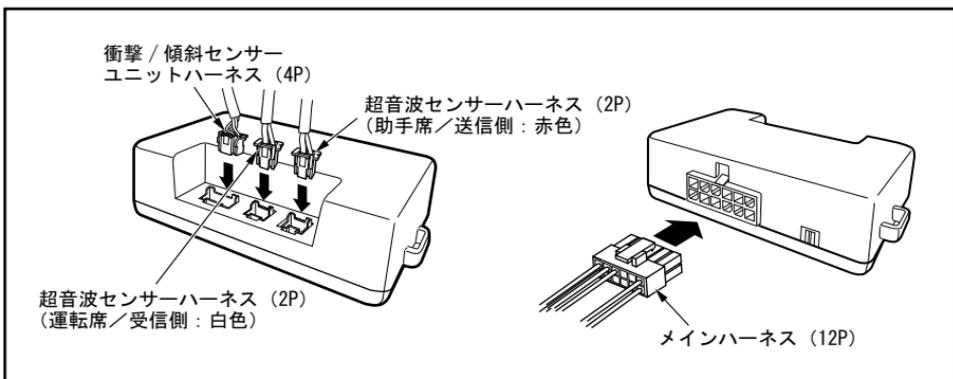
- (1) 車載機を車載機固定用バンドクランプ（350mm）で車両へ固定する。

### 👉アドバイス

- ・既設穴や車両ハーネスを利用して固定してください。
- ・固定の際、右図のように固定用穴を利用して、車載機固定用バンドクランプ（350mm）を使用して固定してください。



## ■各ハーネスの車載機への接続方法



- (1) メインハーネス（12P）、衝撃 / 傾斜センサーユニットハーネス（4P）、超音波センサーハーネス（2P）× 2（送信側：赤色、受信側：白色）を車載機へ接続してください。

### ⚠️注意

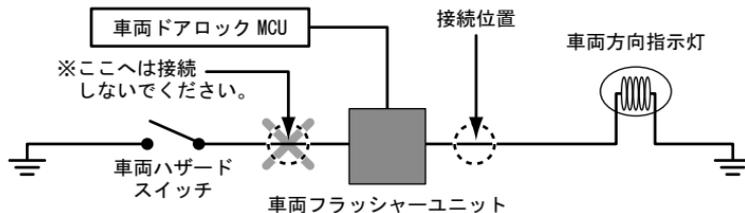
- ・車載機に表示された文字の指示に従って、適切な位置へ接続してください。
- ・振動で各ハーネスの接続に無理な力がかからないように、できるだけ車載機への接続部に近い位置で各ハーネスを固定してください。
- ・超音波センサーハーネスの助手席 / 送信側：赤色（2P）コネクタと運転席 / 受信側：白色（2P）コネクタは同形状のため、誤接続しないように注意してください。誤接続の場合、動作不良やセンサーが正常に作動しませんので十分にご注意ください。

■ウインカー延長線（白色 /1.5m）の接続が必要です。

(1) 車両に取付けるウインカー延長線（白色）は、取付条件を参考に車両と接続してください。

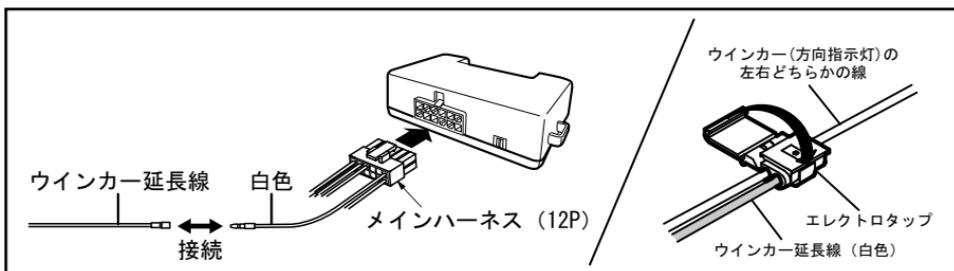
### 取付条件

■ウインカー（方向指示灯）の左右どちらかの線

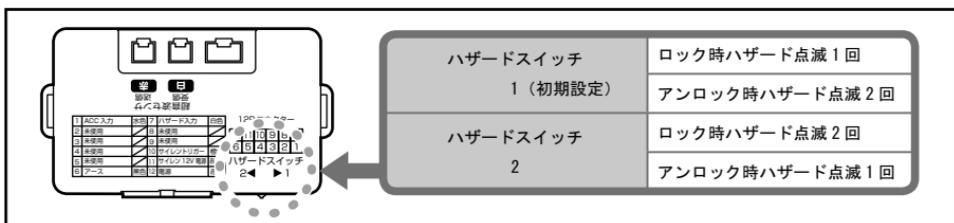


(2) ウインカー延長線（白色）をメインハーネスに接続し、付属のエレクトロタップで車両のウインカー（方向指示灯）の左右どちらかの線に接続してください。

※車両ハザードスイッチへは接続しないでください。



(3) 車載機のハザードスイッチの設定を車両に合わせた設定に切替えてください。



### △注意

- ・純正キーレスリモコンを操作した際、ハザードが「ロック時 1 回、アンロック時 2 回」または「ロック時 2 回、アンロック時 1 回」点滅する車両のみ取付け可能です。（P7 参照）
- ・本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し（キーレスを使用しないで）、アンロックした際にハザードが点滅する車両には取付けできません。

## 作動確認

### △注意

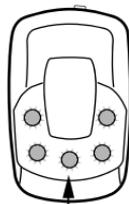
- ・ 輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・ エンジン停止中に長時間作動させると、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。
- ・ 動作確認時は周囲の迷惑にならないよう、サイレンの音には十分に注意してください。

■以下の（１）～（２）の作業を行って、作動が確認できる状態にしてください。

- （１）バッテリーの（-）端子を接続してください。  
→警戒ランプが30秒間全点灯します。

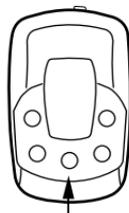
### △注意

30秒間は、すべての操作はできません。



警戒ランプ全点灯

- （２）30秒後に警戒ランプが全消灯したら作動可能となります。



警戒ランプ全消灯

### 👉アドバイス

警戒ランプが全点灯しない場合は、取付けをご確認ください。

■以下の1.～4.項目を手順に従って正常に作動することを確認してください。

## 1 警戒モード設定確認

車両純正キーレスでドアロックしてください。

ハザードランプが1回（または2回）点滅します。

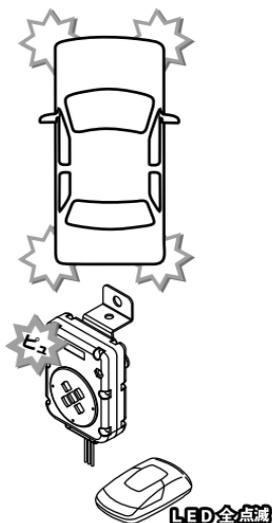
サイレンが「ピュ」と1回鳴ります。

警戒ランプがゆっくり全点滅します。

約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。

警戒モード設定完了

※設定できない場合は、ウインカー延長線の接続先および、車載機のハザード切替スイッチが車両に合った設定になっているか確認してください。（P7参照）



## 2 警戒モード解除確認

車両純正キーレスでアンロックしてください。

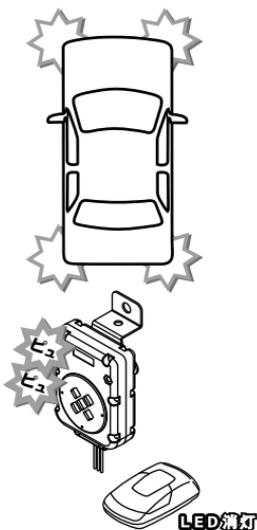
ハザードランプが2回（または1回）点滅します。

サイレンが「ピュピュ」と2回鳴ります。

警戒ランプが消灯します。

警戒モード解除完了

※設定できない場合は、ウインカー延長線の接続先および、車載機のハザード切替スイッチが車両に合った設定になっているか確認してください。（P7参照）



## (1) 警報動作の停止

IG キーを ACC にすることにより警報作動が停止できます。

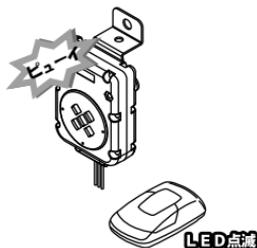


## (2) 衝撃検知

警戒モードに設定してください。

車体（ガラス）に衝撃を加えてください。

- 〈軽度衝撃〉
- ・サイレンが1回「ピューイ」と鳴ります。
  - ・警戒ランプが1回全点滅します。
- 〈重度衝撃〉
- ・サイレンが約30秒間鳴ります。
  - ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。



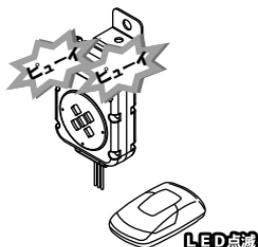
※重度衝撃は、ガラスが破損するレベルで反応します。  
 ※衝撃の反応レベルが悪い場合は、衝撃/傾斜センサーユニットの取付位置を変更し、車両にあった位置に調整してください。(感度調整の設定はありません)

## (3) ドア開検知

警戒モードに設定してください。

ドアを開けてください。

- ・サイレンが約30秒間鳴ります。
- ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。



※ドアをゆっくり開けたり、押し開けた場合は反応しないことがあります。  
 (感度調整の設定はありません)

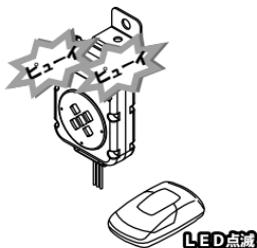
#### (4) 車内侵入検知

運転席窓を開けておいてください。

警戒モードに設定してください。

車内に腕や体を入れて動かしてください。

- ・サイレンが約 30 秒間鳴ります。
- ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。



#### アドバイス

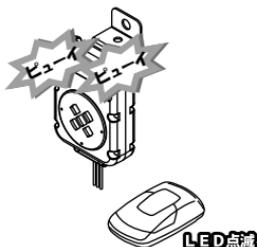
車内に腕を入れただけでは反応しないことがあります。腕や体を入れて動かして反応させてください。

#### (5) 車体傾斜検知

警戒モードに設定してください。

車体をジャッキアップし、傾けてください。

- ・サイレンが約 30 秒間鳴ります。
- ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。

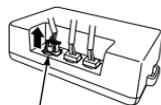


※油圧ジャッキでは反応しない場合があります。

## (1) 衝撃 / 傾斜センサーユニットハーネス (4P)

車載機の衝撃 / 傾斜センサーユニットハーネス (4P) を外してください。

サイレンが約 30 秒間鳴ります。



衝撃 / 傾斜センサー  
ユニットハーネス (4P)

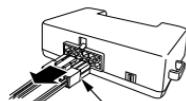


## (2) メインハーネス (12P)

警戒モードに設定してください。

車載機のメインハーネス (12P) を外してください。

サイレンが約 30 秒間鳴ります。



メインハーネス (12P)



※サイレン内蔵のバックアップ電池にて警報を行うため、通常より警報音圧が下がります。

※メインハーネスを抜いた状態で、IG キーを ACC にしても警報は止まりません。

## 取付け完了後の点検

配線や取付けに異常がないか点検してください。

### △注意

- ・車両ハーネスおよび空神 smart の各ハーネスを無理に押ししたり、引っ張ったり、噛み込みだりしていないか点検してください。
- ・バンドクランプのはずれや部品の締め付け忘れはないか確認してください。

## 復元作業

取りはずした部品を元通りに復元してください。

## 最終確認

- (1) 取付けに際して取りはずした部品が元通りに取付けられているか確認してください。
- (2) 車両部品の作動点検を行ってください。

## セキュリティステッカーの貼り付け

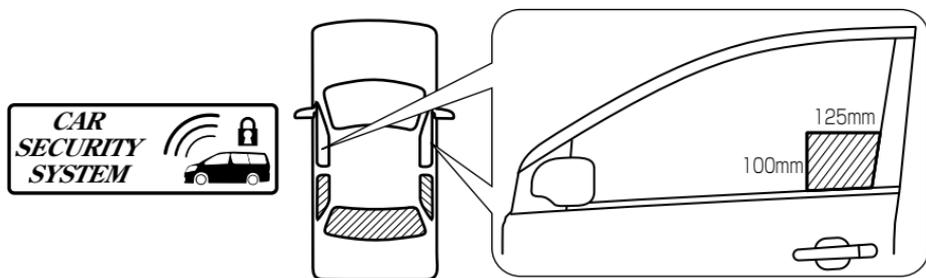
### △注意

- ・セキュリティステッカーはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
- ・お客様にセキュリティステッカーをお渡す際、以下のセキュリティステッカー貼付位置に関する注意事項をお伝えください。

- (1) セキュリティステッカー貼付位置は、下図の斜線で示すウインドガラスの任意の位置に貼り付けてください。

### △注意

- ・セキュリティステッカーは、フロントガラスには貼らないでください。
- ・セキュリティステッカーを貼付ける位置のウインドガラスのゴミ、ホコリ、油汚れなどを取除いてください。
- ・貼付位置は、リアワイパーを避け、向きに注意して貼付けてください。



# トラブルシューティング

症状

本製品装着後初めて電源を接続した際〔取付け時に外したバッテリーの(-)端子を接続した際〕警戒ランプが30秒間点灯しない

## 【確認手順】

メインハーネス (12 P) の赤線 (+B) に電圧が 12 V または 24 V きていますか？

YES

NO

メインハーネスのヒューズが切れていませんか？

YES

NO

ヒューズ交換

メインハーネス (12 P) の黒線 (アース) とボディアース間に導通がありますか？

YES

NO

車両側接続先点検

車載機へ各コネクタが確実に接続されていますか？  
(衝撃 / 傾斜センサーユニット、超音波センサ、メインハーネス)

YES

NO

確実に接続

販売店、取付店へご相談いただき、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

症状

純正キーレスリモコン連動で警戒モードにならない

## 【確認手順】

車両側ウinkerハーネスとメインハーネス (12P) のハザード線 (白) は確実に接続されていますか？

YES

NO

確実に接続

車載機のハザードスイッチの設定 (1 または 2) は車両に合った設定ですか？

YES

NO

車両に合った設定に切り替える

販売店、取付店へご相談いただき、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

症状

警戒モードにして動作確認した際サイレンが鳴らない

【確認手順】

サイレンの黒線（アース）とボディアース間に導通がありますか？

NO

車両側接続先点検

YES

サイレンの赤 / 黒線と橙線はメインハーネス（12P）に確実に接続されていますか？

NO

確実に接続

YES

メインハーネス（12 P）の赤線（+B）に電圧 12 V または 24V きていますか？

NO

メインハーネスのヒューズが切れていませんか？

YES

ヒューズ交換

YES

NO

メインハーネス（12 P）の黒線（アース）とボディアース間に導通がありますか？

NO

車両側接続先点検

YES

販売店、取付店へご相談いただき、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

# 空神 SMART

## DC-M2500

車両侵入警報装置

国産 12V/24V 車対応

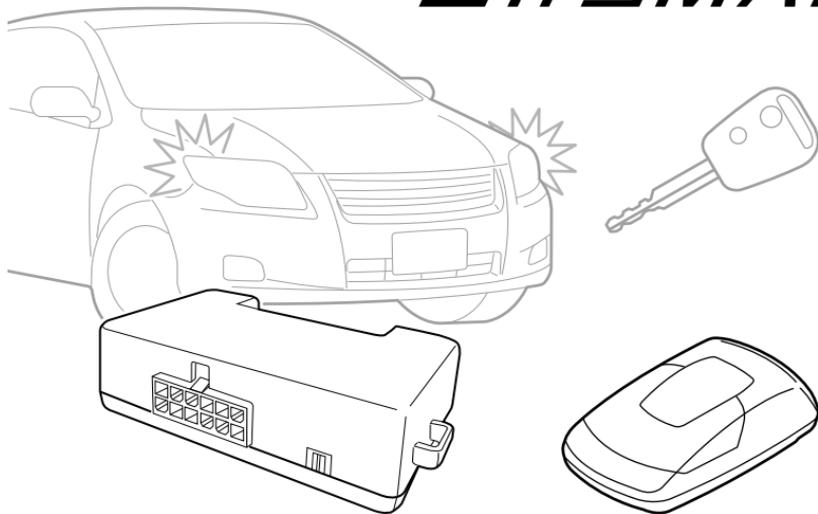
盗難発生警報装置



全国自動車用品工業会  
自主基準登録商品

# 取扱説明書

## 空神 SMART



保管用

保証書添付

この度は、空神 SMART をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

本製品は車両への衝撃やガラス破壊、ドア開などの異常を感知し警報を行う装置です。  
車両盗難、部品盗難、車両へのいたずらなどから完全に防止できるものではありません。なお、本製品の動作の有無にかかわらず発生したいたずらなどによる損害に対しての弊社補償は一切ありません。  
また、誤った取付けや使用による事故、破損などの責任は負いかねますのでご了承ください。

※本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

# 目次

目次	2
空神 SMART センサーの特長	3
超高感度空圧センサー	3
超音波センサー	3
衝撃 / 傾斜センサー	4
安全にお使いいただくために	5
安全上のご注意	5
使用上のご注意	6
同梱品一覧	7
各部名称とはたらき	8
車載機	8
衝撃 / 傾斜センサーユニット	8
サイレン (バックアップ電池内蔵)	9
ご使用の前に	10
車両純正キーレスリモコン、スマートキー、 インテリジェントキー連動操作する	10
基本操作	11
警戒モードを設定する	11
警戒モードを解除する	12
警戒モードに設定せずにドアをロックする	12
検知・警報動作	13
警報動作を停止する	14
警戒ランプ点滅パターン切り替え機能	15
警戒モードの設定時 / 解除時の音色を変更する	16
警戒モードの設定時 / 解除時の音量を変更する	16
警報時の音色を変更する	17
ヒューズの交換方法	18
付録	19
別売品一覧	19
仕様	19
故障かな?と思ったら	20
保証書とアフターサービス	23

# 空神 SMART センサーの特長

## 超高感度空圧センサー

### ● 超高感度検知性能

車内の空気の圧力変化を超高感度で検知するセンサーです。微小な変化、異常をもれなくキャッチします。

精度が高感度であることによって、正常時、異常時の圧力変化の違いを演算処理により正確に検知できます。(感度調整の設定はありません)

### ● 圧倒的な低誤作動

情報をデジタル変換し、独自のアルゴリズム解析により波形の演算処理を行うアプリケーションソフトを搭載。

一般のアナログタイプに比べ正確な波形処理を行えます。

このアプリケーションソフトに異常時の圧力変化をあらかじめ記憶することによって、それ以外の圧力変化を的確に判断。失報なく、誤作動の大幅な低減化が可能となりました。



※ 車両の窓は必ず閉めた状態にしてご使用ください。窓が少しでも開いていると正常に検知しません。

※ オープンカーやキャンバストップ車など、気密性の低い車両では反応しません。

## 超音波センサー

超音波を利用して人体や物体の動きを検知するセンサーです。

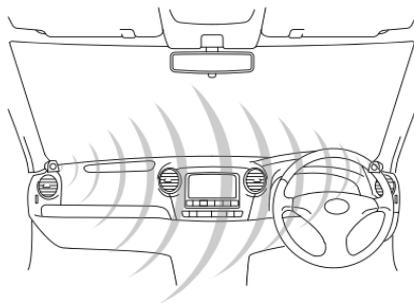
上下左右に約 80 度の感知角度で車内への不審者の侵入をキャッチします。

空圧センサーと連携した 2 重のガードが可能です。



### 👉 アドバイス

- ・ 超音波は壁があると反射するため、後部座席は検知できない車種がありますのでご注意ください。
- ・ 車付近のうろつきには反応しません。



# 空神 SMART センサーの特長

## 衝撃 / 傾斜センサー

車両の衝撃および傾きを検知するセンサーです。3軸性のデジタルセンサーにより、車幅(X)方向、車長(Y)方向、車高(Z)方向の3方向に対応しています。

強い衝撃で車両が揺れたり、ジャッキアップされるなど車両が傾斜した場合に反応します。(感度調整の設定はありません)

ガラス破壊・衝撃

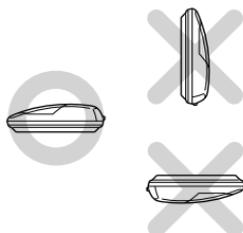
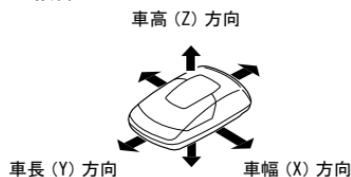


車体傾斜



## アドバイス

Z = 衝撃  
XY = 傾斜



※衝撃 / 傾斜センサーユニットは正しい向きで設置してください。

油圧ジャッキでは反応しない場合があります。すべてのジャッキアップに反応するわけではありませんので、ご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。



**警告** この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が傷害を負ったり、物的損害（※）の発生が想定される内容です。

※物的損害とは家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。



**アドバイス** 本製品に関する補足情報を説明します。



で示した記号は、してはいけない行為【禁止行為】であることを告げるものです。



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。

## ◇「道路運送車両の保安基準」(保安基準)について

国土交通省では、2003（平成15）年7月7日に道路運送車両の保安基準を改訂し、2006年7月1日以降登録の普通乗用車、2008年7月1日以降登録の軽自動車に盗難発生警報装置を装着した場合は、新保安基準に適合することが必要となりました。

●本製品は保安基準に対応（全国自動車用品工業会自主基準登録商品）ですが下記のことを守らないと車検を通過しないまたは整備不良車になる恐れがあります。

- ・商品の取付けは必ず取付要領書通りに行ってください。もし取付要領書通りでない不適切な取付けを行なった場合には車検に通過しない可能性があるだけでなく、整備不良車とされる恐れがあります。
- ・登録証（技術基準適合の証明書）は車検時の審査の参考資料として利用されます。あるいは提出を求められる可能性がありますので車検証に添付することをお勧めします。
- ・取付けした車載機、配線類は車内外から見えないように取付配線を必ず行なってください。
- ・保安基準についてのご質問、お問い合わせは国土交通省に直接お問い合わせください。

## 安全上のご注意



**警告**

- ① 取付けの際は必ずエンジンを停止した状態で行ってください。
- ① 本製品は落下のないよう確実に取付けてあるか確認してください。落下物によりけがをする危険性があります。また落下物が運転の障害となり事故を起こす危険性があります。
- ① 本製品の取付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また車両の機能（ブレーキ・ハンドル・アクセル・シートベルト・エアバッグなど）の妨げにならない場所に取付けてあるか確認してください。
- ④ 破損や有害物のである恐れがありますので、本製品を火の中に投入しないでください。
- ④ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- ④ 絶対に改造・分解・修理しないでください。発火や感電・けがの恐れがあります。
- ④ 運転中の取外しおよび操作は行わないでください。運転の障害となり、事故を起こす可能性があります。
- ④ 本製品は医療機器や高い安全性が要求される機器の近くでは使用しないでください。
- ④ サイレンの音孔に耳を近づけないでください。また体のそばで警報音を鳴らさないでください。聴力障害を起こす恐れがあります。

# 安全にお使いいただくために

- ❶ 配線やケーブルはしっかり固定してあるか確認してください。配線が身体、運転装置にからみ、事故を起こす危険性があります。
- ❷ 本製品に水をかけないでください。火災や感電の原因となります。
- ❸ 湿気の多い場所では使用しないでください。
- ❹ 本製品にぬれた手で触れないでください。感電する可能性があります。

## 注意

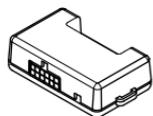
- ❶ 車内に人がいる状態で使用しないでください。警報音により、聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- ❷ 本製品をシンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色の原因や故障の原因となります。
- ❸ 可燃物として廃棄しないでください。一般ゴミとして焼却した場合、有害物質が発生する可能性があります。

## 使用上のご注意

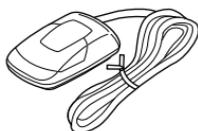
- 本製品のコネクタ端子に針金などの金属に触れないようにしてください。
- 乗車前には、必ず警戒モードの解除を行ってください。
- 本製品は、オープンカーやキャンバストップ車など気密性の低い車両では使用できません。
- 本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し（キーレスを使用しないで）、アンロックした際にハザードが点滅する車両には、取付けできません。
- 警戒モード設定時は必ず、車のドアや窓ガラス、サンルーフなどを完全に閉めてください。窓ガラスが開いていると動作不良の原因となります。
- 警戒モードを設定した場合、強い風、雷および雨などが降ったときや花火、飛来物などによって警報が発生する可能性があります。また窓ガラスやボディに直接衝撃が加わった際にも警報を発する場合があります。
- 地下駐車場や空調ファンの振動や音が発生している場所、またはその他の振動・騒音が発生している場所、車やバイクの改造マフラー音等を検知して警報を発する場合があります。
- 警戒モード設定中（駐車中）の車内に、人、小動物などがいない状態でご使用ください。センサーが検知し、警報を発します。
- 強い電磁波のある所では使用しないでください。電磁波障害により誤作動の原因となります。
- 警戒モードに設定した状態で機械式の立体駐車場に駐車すると、振動や衝撃によって警報を発する恐れがあります。駐車する場合は純正キーレスのドアロック操作を3秒以内に2回行い、警戒モードに設定せずにドアをロックしてください。
- 衝撃 / 傾斜センサーユニットの設置場所によっては衝撃や傾斜センサーが反応しにくい場合があります。また車両のサイズやガラスの厚さ等により、衝撃や傾斜センサーの反応レベルは異なります。
- 一部の車両では純正キーレスやハザードの信号が安定せず、純正キーレスの操作に連動しない場合や本システムが使用出来ない場合があります。
- 一部の車両にて本製品が警報作動中、電波干渉により純正キーレス操作の飛距離が短くなる場合があります。そのような場合、本製品の取付け場所や配線の取回しを変更することで改善する場合があります。
- サイレンにはバッテリーが含まれているため、一般の家庭ゴミとは個別に処理する必要があります。本製品を廃棄する際は、お住まいの地域の自治体に廃棄およびリサイクルの方法についてお問い合わせください。また環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行なっています。
- 本製品の動作の有無に関わらず、車両盗難や車上あらし等が発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品を取付けたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

# 同梱品一覧

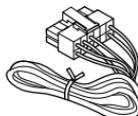
車載機  
(空圧センサー内蔵)



衝撃 / 傾斜センサー  
ユニット  
(約 3m)



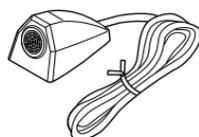
メインハーネス  
(12P / 約 1m /  
3A ヒューズ付き)



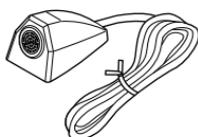
ウインカー延長線 (白)  
(約 1.5m)



送信側超音波センサー  
(約 3m / コネクタ : 赤色)



受信側超音波センサー  
(約 3m / コネクタ : 白色)



サイレン  
(バックアップ電池内蔵)  
(約 4m)



サイレン固定用  
補助ステー



ネジ×1 / ナット×1 / ワッシャー×2 /  
スプリングワッシャー×1  
(サイレンと補助ステー固定用)



エレクトロタップ  
(5 個)



車載機固定用  
バンドクランプ  
(350mm / 1 本)



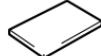
ハーネス固定用  
バンドクランプ  
(100mm / 8 本)



両面テープ  
(車載機用)



両面テープ  
(衝撃 / 傾斜センサー  
ユニット用)



セキュリティステッカー



VAS 適合  
証明書



取付要領書



取扱説明書  
(保証書付)



## アドバイス

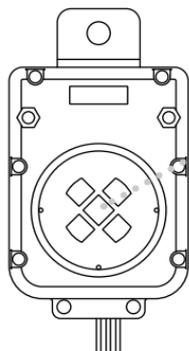
- ・同梱品の外観および製品仕様は製品の性能向上のために予告なしに仕様変更されることがあります。
- ・セキュリティステッカーは視界を妨げない位置のガラス面に車両の内側より貼付けてください。



# 各部名称とはたらき

## サイレン(バックアップ電池内蔵)

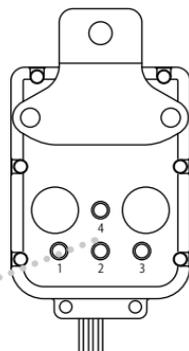
正面



### 警報スピーカー

威嚇の為の警報音を  
発します。  
音色は2種類から選  
択できます。  
(P17 参照)

後部



### サイレン音 設定スイッチ

スイッチ操作で警戒  
モードの設定・解除  
時の音色と音量、警  
報音の音色を変更す  
ることができます。  
(P16, 17 参照)

## アドバイス

- ・サイレンにはバックアップ電池が内蔵されているため、警戒モードに設定している状態で、メインハーネスを切断されてもサイレン警報を行います。
- ・バックアップ電池での警報は通常時より音量が小さくなります。

# ご使用の前に

## 車両純正キーレスリモコン、スマートキー、インテリジェントキー連動操作する

(※ウインカー延長線(白色/約1.5m)の接続が必要です。)

### 初期設定：ハザードスイッチ 1

ハザード点滅アンサーバック(作動確認)機能を搭載した車両純正キーレスリモコンのドアロック/アンロック操作に連動して、警戒モードを設定/解除することができます。

### ハザードスイッチ切り替えについて

初期設定ではドアロック操作をして、ハザードランプが1回点滅してから数秒後に警戒モードが設定されます。アンロック操作をして、ハザードランプが2回点滅してから数秒後に警戒モードが解除されます。

ドアロック、アンロック作動時のハザード点滅回数が入れ替わっている場合(ドアロック時:2回、アンロック時:1回)は車載機側面のハザードスイッチにより設定を「2」へ変更してください。



ハザードスイッチ 1 (初期設定)	ロック時ハザード点滅 1 回 アンロック時ハザード点滅 2 回
ハザードスイッチ 2	ロック時ハザード点滅 2 回 アンロック時ハザード点滅 1 回

### 注意

- ・上記以外のハザード点滅を行う車両、または車両純正キーレスリモコンを操作してもハザード点滅しない車両は、取付けできません。
- ・車両純正キーレスリモコンで警報動作を停止することはできません。

# 基本操作

操作を行う前に配線接続が終了していることを確認してください。

## 警戒モードを設定する

窓を完全に閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかりと閉めてください。

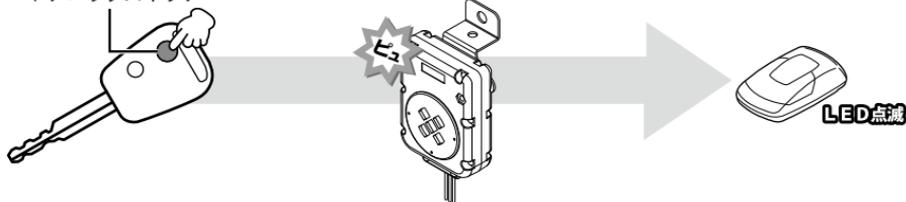
### 注意

- ・車内に人やペットがいる状態で使用しないでください。サイレンにより聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- ・警戒モード中に車内で他の機器を作動させないでください。センサーが検知する場合があります。

### 1) 純正キーレスリモコンでドアロック操作をする

- ・サイレンから設定した警報音 (P16 参照) が鳴ります。
- ・警戒ランプが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 20 秒間)
- ・警戒ランプの点滅パターンが切り替わり警戒モードとなります

純正キーレス  
ドアロックスイッチ



### アドバイス

- ・本製品はハザード点滅信号により警戒モードに設定するため、ハザードが点滅してから数秒後に警戒モードの設定音が鳴ります。
- ・キャンセルタイマー中は、警戒ランプが約 20 秒間全点滅します。このとき、各種センサは異常を検知しません。
- ・誤作動防止のため、キャンセルタイマー時間の調節および解除設定をすることはできません。

### 注意

- ・ハザード点滅中 (停車時) は警戒モードの設定はできません。
- ・3 秒以内に 2 回ドアロック操作を行うと警戒モードには設定されません。(P12 参照)

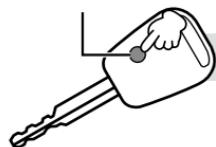
# 基本操作

## 警戒モードを解除する

### 1) 純正キーレスリモコンでドアアンロック操作をする

- ・サイレンから設定した警報音 (P16 参照) が鳴ります。
- ・警戒ランプが消灯します。

純正キーレス  
ドアアンロックスイッチ



LED消灯

### ⚠ 注意

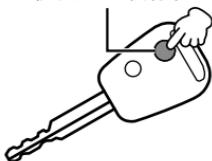
アンロック操作をしたときは、ハザードランプが点滅し、サイレンから「ピュピュ」と音がしたことを確認してから車両のドアを開けてください。その前に車両に乗り込むと警報動作を行ってしまう場合があります。

## 警戒モードに設定せずにドアをロックする

### 1) 純正キーレスリモコンでドアロック操作を3秒以内に2回行う

- ・純正キーレスリモコンのスイッチが1つの場合、スイッチを3回押すことで、ドアロック操作を2回行なってください。」

純正キーレス  
ドアロック操作を  
3秒以内に2回行う



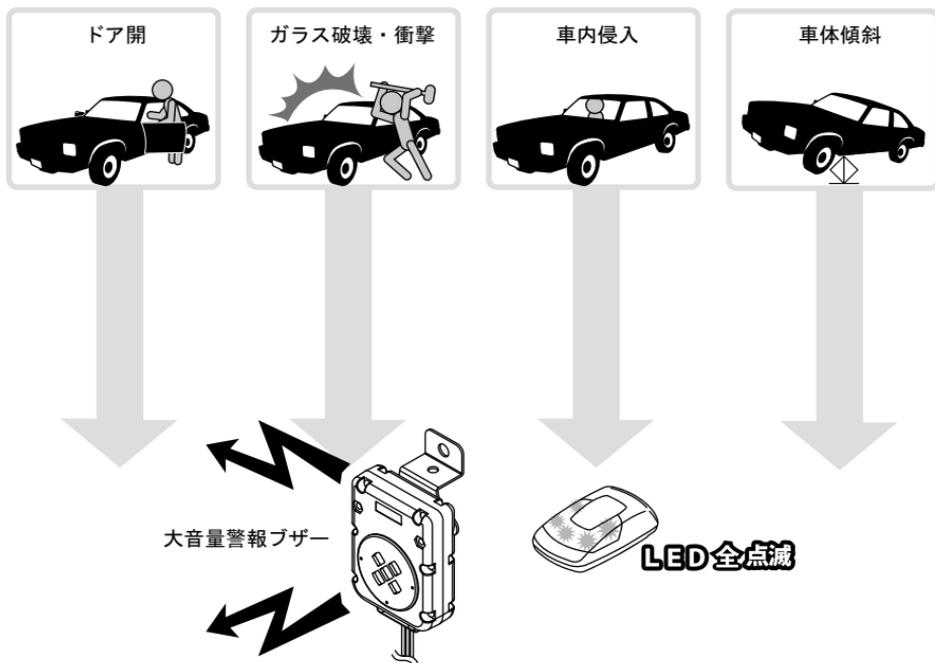
### 👉 アドバイス

警戒モードに設定した状態で機械式の立体駐車場に駐車すると、振動や衝撃によって警報を発する恐れがあります。そのような場所に駐車する際にご使用ください。

# 基本操作

## 検知・警報動作

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開を検知したときには、警報動作（警戒ランプが短い間隔で全点滅し、サイレンが鳴動）を発生します。警報動作は約30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。



# 基本操作

## 警報動作を停止する

### サイレンおよび警戒モードを解除する場合

- 1) IG キーを ACC ポジションにする

操作内容	状態
	<ul style="list-style-type: none"><li>・警戒モードが解除されます。</li><li>・サイレンが停止します。</li></ul>

### 注意

- ・純正キーレスリモコンでは警報中に警戒モードの解除やサイレンを停止させることはできません。
- ・IG キーで警戒モードを解除した場合、バックアップサイレンは OFF になりません。(メインハーネスや車両バッテリーを外すと警報してしまう) バックアップサイレンを OFF にする場合、純正キーレスリモコンで警戒モードを解除してください。

### 軽い衝撃を検知した場合

サイレンから設定した警報音が1回鳴り、警戒ランプはサイレンに合わせて全点滅し、不審者を威嚇します。

軽い衝撃の検知に対する威嚇動作は、保安基準により1回の警戒モード設定に対し、合計10回まで作動します。11回目以降は軽い衝撃に対する威嚇動作を行いません。

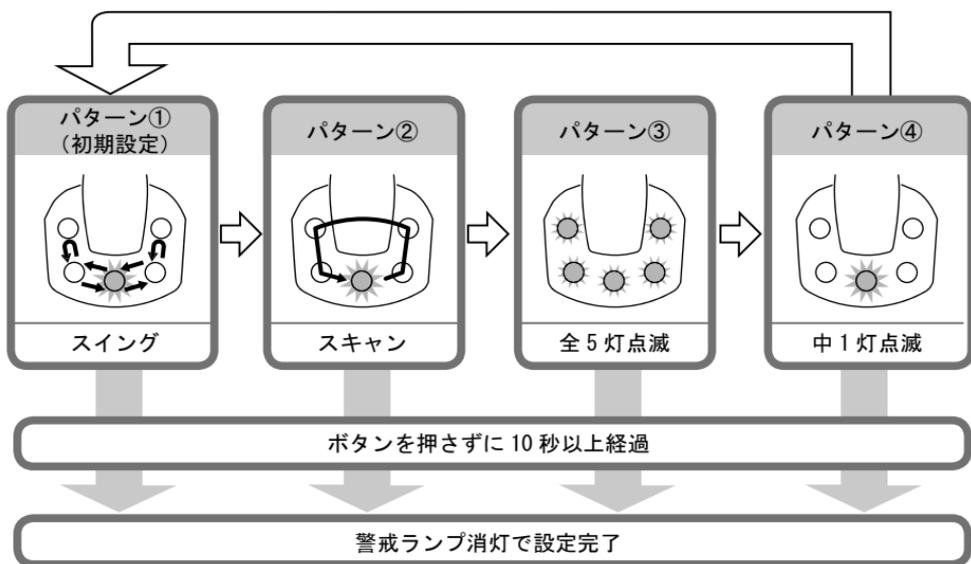
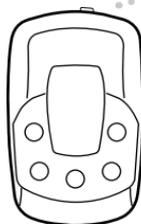
# 応用操作

## 警戒ランプ点滅パターン切り替え機能

LED 点滅パターン  
切り替えボタン

初期設定：パターン①

- ・警戒モード解除中に、衝撃/傾斜センサーユニットのLED点滅パターン切り替えボタンを押すことで、警戒ランプの点滅パターンを切り替えることができます。
- ・LED点滅中は切り替えできません。
- ・点滅パターンは下記①～④の4種類あります。



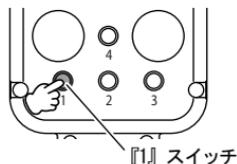
## サイレンの設定について

- ・設定はまとめて変更することができます。『4』スイッチを押した時点のすべての設定が登録されます。
- ・設定を変更してから『4』スイッチを押して登録するまでに約60秒経過すると変更した設定がキャンセルされます。
- ・各種設定は車両バッテリーを外したり、電源を抜いてもリセットされません。

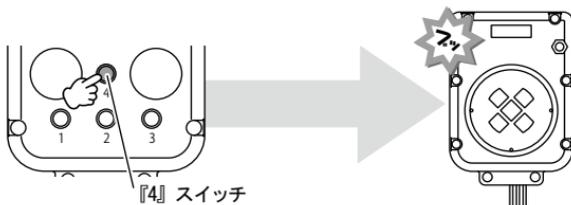
## 警戒モードの設定時 / 解除時の音色を変更する

警戒モードの設定時 / 解除時のサイレンの音色を4種類から選択することができます。

- 1) サイレン裏面の『1』スイッチを押す
  - ・サイレンから現在の設定の音色で音が鳴ります。
  - ・スイッチを押すごとに音色が変化します。



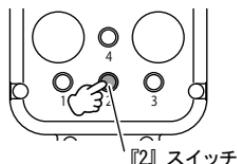
- 2) 60秒以内にサイレン裏面の『4』スイッチを押して設定を登録する
  - ・サイレンから登録確認音が鳴ります。



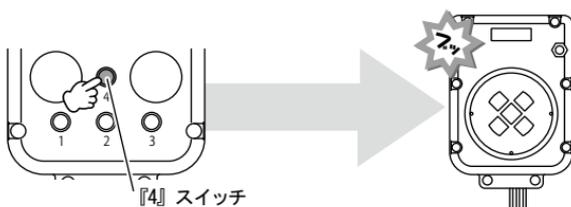
## 警戒モードの設定時 / 解除時の音量を変更する

警戒モードの設定時 / 解除時のサイレンの音量を【1】～【4】、【OFF】の5段階から選択することができます。

- 1) サイレン裏面の『2』スイッチを押す
  - ・サイレンから現在の設定の音量で音が鳴ります。
  - ・スイッチを押すごとに音量が変化します。



- 2) 60秒以内にサイレン裏面の『4』スイッチを押して設定を登録する
  - ・サイレンから登録確認音が鳴ります。

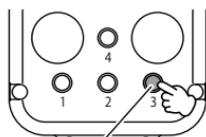


## 警報時の音色を変更する

警報時のサイレンの音色を2種類から選択することができます。

### 1) サイレン裏面の『3』スイッチを押す

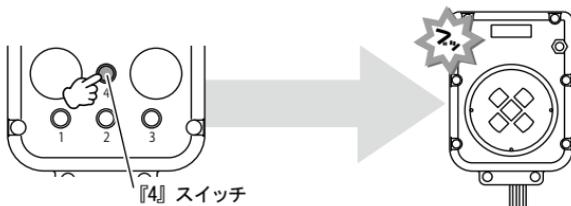
- ・サイレンから現在の設定の音色で警報音が鳴ります。
- ・スイッチを押すごとに音色が切替わります。



『3』スイッチ

### 2) 60秒以内にサイレン裏面の『4』スイッチを押して設定を登録する

- ・サイレンから登録確認音が鳴ります。



『4』スイッチ

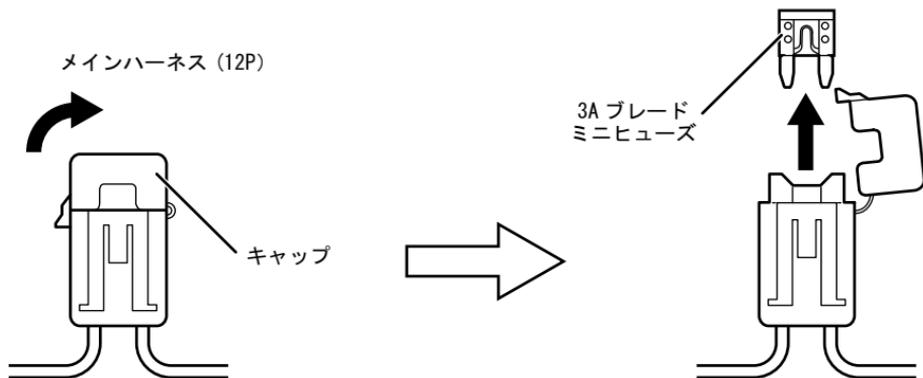
## アドバイス

警報音の音量を変更することはできません。

## ヒューズの交換方法

メインハーネス（12P）のキャップ（白いプラスチック部）を開けてヒューズを取り出して交換してください。

- ・ヒューズが切れた場合は市販の 3A ブレードミニヒューズを別途お買い求めください。
- ・ヒューズを交換しても再びヒューズが切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



## 別売品一覧

同梱品のお買い求めはお買い上げ販売店までお問い合わせください。

車載機（両面テープ付属）	（品番：DC-M2501）
衝撃 / 傾斜センサーユニット （ケーブル長約 3m / 両面テープ付属）	（品番：DC-M2502）
サイレン（バックアップ電池内蔵） （サイレン固定用補助ステーおよびネジセット付属）	（品番：DC-M2503）
超音波センサーユニット（送受信セット）	（品番：DC-M2504）
メインハーネス（3A ヒューズ付） （ウインカー延長線付属）	（品番：DC-M2519）

## 仕様

電源電圧	DC12V/24V
消費電流（12V）	警戒時… 15mA 以下（平均値） 警報時… 1A 以下（最大値）
消費電流（24V）	警戒時… 10mA 以下（平均値） 警報時… 0.5A 以下（最大値）
サイレン音圧	約 100dB/2m
サイレン防塵防水性能	IP54
動作温度範囲	-40°C ~ +85°C
サイズ 車載機	80 (W) × 50 (H) × 19 (D) /mm 突起部除く
サイレン	65 (W) × 85 (H) × 24 (D) /mm 突起部除く
超音波センサーユニット	25 (W) × 40.5 (H) × 22.5 (D) /mm 突起部除く
衝撃 / 傾斜センサーユニット	37.3 (W) × 60 (H) × 18.4 (D) /mm 突起部除く
重量 車載機	51g
サイレン	219.5g（ケーブル / ステー含む）
超音波センサーユニット	44g（ケーブル含む）
衝撃 / 傾斜センサーユニット	69.5g（ケーブル含む）

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症状	確認	対策
本体が反応しない	本体部の配線は全て接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
警戒モードの設定ができない。	ウインカー線の配線は全て正しく接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
	車載機のハザードスイッチの設定は車両に合った設定になっていますか？	車両に合った設定に切り替えてください。
警報動作しない	警戒モードの設定はされていますか？	警戒モードに設定してください。
	警戒モードに設定して20秒以上経過していますか？	20秒後に確認してください。
	窓は完全に閉まっていますか？	窓を閉めてください。
サイレンが鳴らない	サイレン部の配線は全て正しく接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
	サイレンの黒線(アース)とボディアース間に導通がありますか？	車両側接続先を確認してください。
超音波センサーが反応しない	超音波センサーの取付け位置は指定の位置に正しく取付けてありますか？	取付けが正しく行われているか確認してください。
バッテリーを外すと警報する	警戒モードに設定した状態でバッテリーを外していませんか？	警戒モード設定中にバッテリーを取外すと、サイレン内蔵のバックアップ電池により約30秒間警報を行います。バッテリーを外す際は必ず警戒モードを解除してください。

お買い上げの販売店へお持ちください。  
左記を点検してもなお異常がある場合は、ただちに使用を中止して